

普及活動情勢報告（令和3年9月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

農薬散布用ドローンを使った露地ショウガの防除 ～ショウガ栽培の害虫防除実証～



ドローン防除の準備をする関係者

9月1日、普及所は環境農業推進課とともに四万十町日野地のショウガ生産者の圃場で農薬散布用ドローンによる害虫防除の実証試験を行いました。

今年度に入り、ショウガ栽培でドローン防除に使用できる農薬の登録が増えており、アワノメイガに対して効果がある殺虫剤をドローンで散布したものです。

圃場を実証試験に提供した生産者はアワノメイガやヨトウ類はショウガの上部にいたることが多いためドローン散布に期待していると話していました。

普及所では今後も関係機関と連携してショウガ栽培へのドローン活用に取り組んでいきます。

エタノールで土壌病害を軽減 ～ショウガ栽培の低濃度エタノール土壌還元処理実証～



エタノール処理の様子

9月2、3日の2日間にわたって、普及所は四万十町桑ノ又のショウガ生産者の圃場で関係機関と協力して低濃度エタノール土壌還元処理の実証圃を設置しました。

ショウガ栽培においては、根茎腐敗病や青枯れ病等の土壌病害が課題となっていますが、低濃度エタノール土壌還元処理は化学合成農薬と見なされないうえ、土壌中を還元化して土壌の深い部分まで病原性の菌類や細菌を減らす効果が期待されています。

普及所では高知大学とも連携して、低濃度エタノール土壌還元処理の効果を明らかにし、普及に取り組んでいきます。

適期刈取りに向けて！！ ～JA高知県四万十エコ栽培米生産部会～



現地検討会の様子

9月22日、JA高知県四万十エコ栽培米生産部会の刈取り前現地検討会が開催され、生産者8名が参加しました。

普及所は本年の気象とこれまでの生育状況にふれた後、適期刈取りに向け‘にこまる’の出穂後の積算気温の目安を示しました。

現地では、本年から各生産者のほ場に設置している積算温度計と穂の熟れ具合を確認しながら、刈取り時期について共有をしました。

普及所は、今後もJAと連携しながら、同部会の米のブランド化を推進していきます。